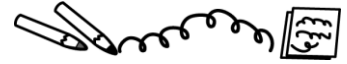




7月のほけんだより

2022. 7.1 発行
田園調布学園大学
みらいこども園
(看護師 板橋 裕希子)



日差しが強くなり心弾む夏がやってきました。水遊びでは元気いっぱいの子どもたちです。梅雨明けの急な気温の上昇で熱中症にも注意が必要な時です。プールや水遊びの時も体の中からの水分補給を忘れないようにしましょう。疲れた時はゆっくり休み体調管理に気を付けながら過ごしましょう。



《注意したいこどもの夏かせ》

夏に注意したい代表的な3つの感染症とその症状を挙げてみました。

都内では6月にインフルエンザで小学校が学年閉鎖になったり、去年は冬に多いと言われるRSウイルス感染症が春夏に増えたりと、コロナ禍ではそれまでとは違う時期の流行があります。

気になる症状がみられたらすぐ受診しましょう。

健診のお知らせ

7月12日(火) 13:00
6月までに園医健診を受けられていない園児

※都合により日程が変更になることがあります。その都度事前にご連絡いたします。



◇フル熱(咽頭結膜熱)

38℃以上の高熱。
のどの腫れと痛み。
目の充血やまぶたの裏の赤み。
プールに入らなくても飛沫感染や接触感染でうつります。アデノウイルスが原因ですがアデノウイルスにはたくさんの種類がありその中の一つです。



◇手足口病

手のひら、足の裏、口の中、おしりなどにできる赤い発疹や米粒大の水疱。
食事が通りにくくなるため脱水で入院することもあります。

◇ヘルパンギーナ

38~40℃近い突然の発熱。
上顎やのどの奥にできる小さな水疱。
手足口病と似たような発疹がでますが口以外には発疹が出ません。

虫刺されの予防

虫刺されの痒みから掻き壊してしまいとびひになってしまうこともあります。

園ではレモングラスとユーカリのハーブオイルと精製水で作った虫よけスプレーを使用しています。

シールタイプの虫よけ剤は落下したり、その際に小さい子どもが口にいれたりする恐れがありますのでご遠慮ください。



|